



いつもお世話になっております。今月号の事務所だよりをお届けしますので、ご査収下さいますようお願い申し上げます。

クレジットカードによる納税について

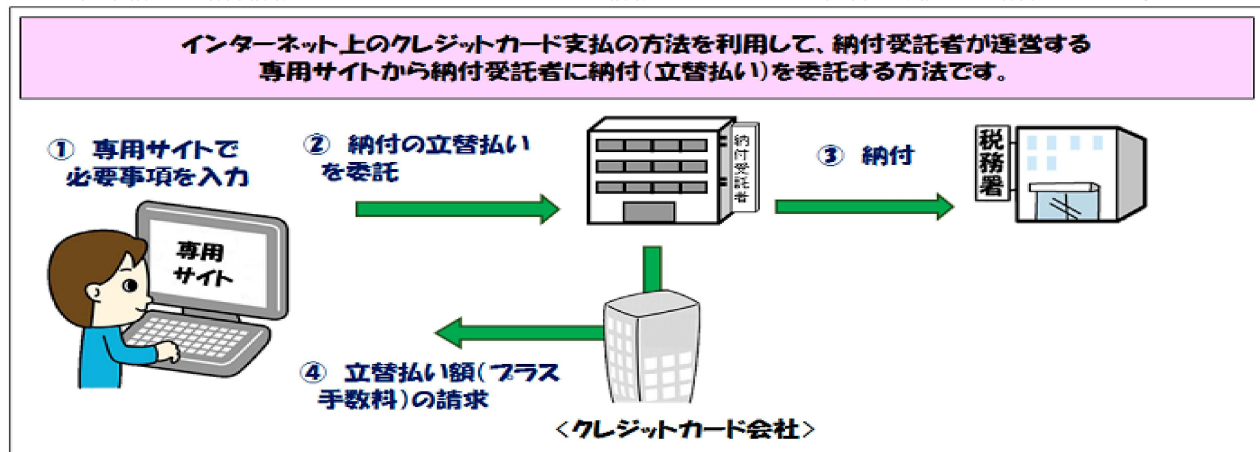
平成 28 年度の税制改正で「国税の納付方法の多様化を図る」という目的からクレジットカード納付を可能にする制度が創設されることになりました。(平成 29 年 1 月 4 日施行)

1. 利用できる税目

申告所得税及復興特別所得税	消費税及地方消費税	法人税
法人税(連結納税)	地方法人税	地方法人税(連結納税)
相続税	贈与税	源泉所得税及復興特別所得税(告知分)
源泉所得税(告知分)	申告所得税	復興特別法人税
復興特別法人税(連結納税)	消費税	酒税
登録免許税(告知分)	自動車重量税(告知分)	印紙税 等々

2. 納税のイメージ

手続前準備 納付情報の入力 クレジットカード情報の入力 手続内容の確認 納付手続の完了



3. クレジットの決済手数料(意外に高すぎます)

10,000 円を超えるごとに決済手数料 82 円が加算されます。例えば、1,000,000 円の納付に対して約 8,200 円のクレジット会社への手数料が必要です。税金の納税が月末として、40 日分の金利と考えると年利 7% 以上です。

4. ポイント還元(クレジット会社により違い・変更もあるようです)

例えばアメリカンエキスプレスクードの場合、通常 100 円で 1 ポイントのところ、税金の支払では 200 円で 1 ポイントと還元率が 0.5% になっているようです。

このように、税金の支払いで還元率が落ちるカードや、ポイントが付かないカードがあるかもしれないので、クレジットカード納付される前にはポイント還元されるか確認してからカード払いが必要です。

5. ポイント交換時の注意点

税金をクレジットカードで決済し、そのポイントを使った場合は、原則は**収入**になってしまいます。

少額なものではなく、国に対しての**納税**ですので**税務署は把握**していると考えられます。

6. パソコン等で納付情報等を入力して、クレジット決済をします(楽天の買物よりも意外に時間がかかります)

利用者情報 氏名漢字・氏名カナ 郵便番号 都道府県市区町村 電話番号 整理番号

納付先税務署 納付内容・納付税目 各税目の課税期間 申告区分 本税・合計額 以上、各項目を入力してクレジット決済します。